

令和5年度 社会福祉法人ルミエール 事業報告

1. 総括

本会は、グループ全体で高齢者、障がい者、障がい児を対象としたサービスを提供しており、これらの方々が法律や制度のはざままで不利益を被ることなく、居住する地域社会において一元的にかつ一貫したサービスを楽しむことができる仕組みづくり・組織づくりを進めてきた。

法人においては、理事会、評議員会の運営をはじめ、各事業が適正かつ的確に提供できるよう職員の育成や体制整備を行い、かつ職員が働くに喜びを感じられる職場環境の整備を目指し、人事考課とそれに関連付けた給与体制を進めてきた。特に、本年度はコロナが2類相当から5類に移行に伴い、本会の感染状態も収束の方向が見えてくるなか、特養穂波園の施設長を交代した。これに伴い、理事として就任することとなったが、理事の構成比率が、運営者側に偏るのではないかと評議員会からの指摘、意見があり、地域からの理事を1名増員することでバランスの取れた理事構成を図った。これにより、法人事務局長は業務執行理事として、法人統括の業務に専念することとした。

マザーグースの家では、グループホームの建設に向けて大詰めの協議を進め、どのような施設にするか設計協議を進め、また次に控えるグループホームの2棟目3棟目の土地の確保をするなど着実に歩みを進めているところである。この間物価高による建築資材の高騰や建設労働者の残業制限などの不安材料はあるが、できるだけ予定どおりに進めて参りたい。

穂波園では、新型コロナウイルス感染症による影響が大きく、5月の5類移行後も新型コロナウイルス感染者が現れると、基礎疾患が多い高齢の利用者の入所する施設では、慎重な対応にならざるを得ず、収益面では大きな減少となった。特養での治療は限界があるため、重症化しそうな方は入院いただくなど、まず命を守る対応を今後も続けることとするため、感染対策を強化しながら新型コロナウイルスと共存した運営を模索していかなければならない。

ご利用者やそのご家族、板野町民を中心とした地域の方々に向けても安心してサービスを受けていただけるようサービスの質の向上を目指し、感染対策、生産性の向上、医療との連携など取り組むべき課題を一つ一つクリアしながら、ご利用者からの信頼を得、新規及び継続利用につなげていきたい。

【事業内容】

A. 穂波園グループ

穂波園指定介護老人福祉施設

穂波園指定短期入所生活介護事業所

穂波園指定通所介護事業所－予防支援も含む

穂波園指定訪問介護事業所－予防支援・乗降介助サービスも含む

穂波園指定訪問介護事業所(障害福祉サービス事業)

穂波園指定居宅介護支援事業所
板野町高齢者在宅生活支援事業－配食サービス
社会貢献事業－「ほなみサロン」の実施(毎週金曜日に実施)

B. マザーグースグループ

指定障害福祉サービス事業所 マザーグースの家(生活介護)
指定相談支援事業所 マザーグースの家
日中一時支援事業(マザーグースの家)
放課後等デイサービス事業(マザーグース7)

C. 法人本部

法人内事業の統括
法人運営・職員の福利厚生の充実のための規程等の整備
障がい者グループホーム事業開始に向けての建設・運営への総合準備

2. 組織運営

1) 現在の組織体制 令和6年3月31日 現在

A. 理事(8名)

藤岡 裕子 中川 正一 鏡 和博 松下 悦子 齋 大道 斉
影石 公昭 別頭 啓輔 横山 美千代

B. 評議員(9名)

北原 翠子 斉藤 勝明 富永 ユリ 東條 義人 吉田 美恵子
林 祐次郎 多田 令修 加藤 律子 石川 和宣

C. 監事(2名)

片山 隆司 大北 英昭

D. 苦情解決第三者委員(2名)

林 祐次郎 連記 富子

2) 会務の運営

(1) 法人監事監査

令和5年5月22日 於)穂波園指定通所介護事業所

(2) 理事会

○第1回: 令和5年6月2日 於)穂波園指定通所介護事業所

【審議事項】

① 令和4年度 事業報告の承認について

② 令和4年度 貸借対照表・事業活動収支計算書及び資金収支計算書、財産目録

等財務諸表等の承認について

- ③特別養護老人ホーム穂波園施設長の選任について
- ④社会福祉法人ルミエール職員表彰について
- ⑤社会福祉法人ルミエール監事の選任について
- ⑥障がい者グループホームの建設手続きについて
- ⑦評議員会の開催について

【報告事項】

- ①理事長及び業務執行理事の業務執行報告について

○第2回:令和5年6月27日 於)特別養護老人ホーム穂波園 施設長室

【審議事項】

- ①理事長の選任について
- ②業務執行理事の選任について

○第3回:令和5年8月24日 於)穂波園指定通所介護事業所

【審議事項】

- ①職員服務規程の一部改正について
- ②資金運用規程の一部改正について
- ③予算管理規程の一部改正について
- ④庁舎管理規程の一部改正について
- ⑤障がい者グループホームの建設手続きについて

○第4回:令和5年11月6日 於)穂波園指定通所介護事業所

【審議事項】

- ①障がい者グループホーム Hope1 の設計業者の選定について
- ②障がい者グループホーム Hope2,3 の土地の取得について
- ③社会福祉法人ルミエール給与規程の一部改正について
- ④社会福祉法人ルミエール退職金規程の一部改正について
- ⑤社会福祉法人ルミエールコンプライアンス規程の制定について
- ⑥社会福祉法人ルミエール理事候補者の推薦について
- ⑦評議員会の開催について

【報告事項】

- ①理事長及び業務執行理事の業務執行報告について
- ②令和5年度上半期事業報告について

○第5回:令和6年3月6日 於)穂波園指定通所介護事業所

【報告事項】

- ①理事長及び業務執行理事の業務執行報告について
- ②徳島県による指導監査の報告について
- ③障がい者グループホームマザーHope1 の進捗状況について

【審議事項】

- ①令和5年度収支補正予算(案)の承認について
- ② 社会福祉法人ルミエール定款の変更について
- ③ 障がい者グループホームマザーHope2、Hope3 の建設に関する基本方針について
- ④ 社会福祉法人ルミエール経理規程の一部改正について
- ⑤ 穂波園グループ(特別養護老人ホーム、短期入所、通所介護、訪問介護、居宅介護支援)運営規程の全面改正について
- ⑥「特定非営利活動法人いたのあせび」と法人間連携協定の締結について
- ⑦令和6年度事業計画(案)の承認について
- ⑧令和6年度収支予算(案)の承認について
- ⑨令和6年能登半島地震義援金の支出について
- ⑩評議員会の開催について

(3)評議員会

○第1回:令和5年6月27日 於)穂波園指定通所介護事業所

【報告事項】

- ①特別養護老人ホーム穂波園施設長の選任について

【協議事項】

- ① 令和4年度事業報告の承認について
- ② 令和4年度貸借対照表・事業活動収支計算書及び資金収支計算書、財産目録等財務諸表等の承認について
- ③ 社会福祉法人ルミエール理事・監事の選任について

○第2回:令和5年11月14日 於)穂波園指定通所介護事業所

【協議事項】

- ①障がい者グループホームマザーHope1 の設計業者の選定について
- ②障がい者グループホームマザーHope2、Hope3 の土地の取得について
- ③社会福祉法人ルミエールコンプライアンス規程(案)の制定について
- ④社会福祉法人ルミエール理事の選任について

○第3回:令和6年3月26日 於)穂波園指定通所介護事業所

【報告事項】

- ①障がい者グループホームの進捗状況について
- ②「特定非営利活動法人いたのあせび」と法人間連携協定の締結について

【協議事項】

- ①社会福祉法人ルミエール定款の変更について
- ②令和5年度収支補正予算(案)の承認について
- ③令和6年度事業計画(案)の承認について
- ④令和6年度収支予算(案)の承認について

(4)職員採用試験等の実施

・嘱託職員の正規職員化:令和6年3月3日 マザーグースの家 1名 小論文と面接

(5)社会保険労務士ー山瀬 真由美氏とアドバイザー契約の更新

・月1回の定期的な指導及び電話等による随時指導

(6)苦情解決第三者委員打ち合わせ会の実施

令和5年7月28日

於)穂波園指定通所介護事業所

3. 事業の推進

1)情報共有の推進

会議形式の情報共有から「LINEWORKS」「Slack」等ソーシャルメディアを活用した情報共有を図り、来年度からの「サイボウズ Office」導入の準備を行った。

2)グループホームの建設について

マザーHope1 については、来年度の運用開始を目指し、剛建築事務所を設計業者に選定し、設計協議を進めた。

マザーHope2、Hope3 についても、建設予定を決め、土地の取得を行った。徳島県からの補助金を取得できるよう協議を進める事を理事会で決定した。

建設業界の人手不足や残業規制、物価高もあり、建設費用は予定より高騰しており、工事の遅れや予算不足による様々な制約の恐れもあるが、できるだけ予定どおりの完成となるよう努めたい。

3)ホームページの運用 (<https://www.lumiere-tokushima.com>)

※R5.4.1～R6.3.31 の実績 訪問者数延べ 21,415 人(前年度比約 82%)

一日平均約 59 人の訪問 最高 133 人(R5.8.4 金) 最低 40 人(R6.1.14 日)

(管理上の閲覧も件数に含むため実際の訪問者は数字より少ない)

4)災害対応に向けて

(1)通信アプリ「LINEWORKS」を利用し、月 1 回、災害時安否確認訓練の実施

(2)各事業所の事業継続計画(BCP)(災害、感染症)の策定

(3)福祉避難所運営方法について検討

5)人材確保と育成

(1)ハローワーク、人材派遣会社への求人依頼とホームページ上で求人情報公開

(2)Web 研修等外部研修情報の提供

6)徳島県の指導監査への対応

・令和6年1月19日 法人本部・特別養護老人ホーム穂波園

7)その他

- ・介護福祉士国家試験合格 2名
- ・社会福祉法人ルミエール 職員表彰の実施 1名
- ・穂波園「衛生管理委員会」の運営とストレスチェックの実施
- ・ハラスメント対策の推進
- ・各種団体への永年勤続等表彰の推薦
 - ・徳島県老人福祉施設協議会施設職員表彰 2名
 - ・徳島県社会福祉大会名誉大会長表彰 1名
- ・各種団体への運営協力
 - ・徳島県知的障害者福祉協会
 - ・徳島県老人福祉施設協議会 監事、広報委員会委員
 - ・徳島県ホームヘルパー協議会 理事
 - ・板野郡障がい支援区分認定審査会 審査委員
 - ・藍住町・板野町・上板町介護認定審査会 審査委員
- ・平成6年能登半島地震への義援金協力

【課題】

- a) グループホームの早期建設とマザーグース7の移転整備の計画的推進と、穂波園の移転の検証
- b) 計画的推進と業務のマニュアルの作成と業務のチェックリストと業務の標準化の推進
- c) 災害発生時(パンデミック感染も含む)に対応するBCP(事業継続計画)の継続見直し
- d) 職員養成・育成のための人事考課や研修体系及びキャリアパスシステムの整備充実
- e) 安定運営のための人材確保と職員の世代間バランスの均衡化。若い世代の積極採用
- f) 緊急時・有事の際に動ける体制づくりと訓練の実施